



第83期 第2四半期

株主通信

2017年4月1日～2017年9月30日



株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第83期（2018年3月期）第2四半期連結累計期間（2017年4月1日から9月30日まで）における当社グループの業績概要と通期の見通しとともに、2017年4月よりスタートした新中期経営計画（2020年3月期までの3ヶ年計画）の概要について、ご報告申し上げます。

2017年12月

代表取締役社長

会田 仁一



当第2四半期連結累計期間の業績について

当第2四半期連結累計期間は、中国企業より電気自動車（EV）用大型サーボタンデムラインの受注を獲得する等、国内外でプレス機械の受注が順調に拡大し、受注高は439億円（前年同期比69.5%増）、受注残高は581億円（前期末比23.8%増）となりました。売上高は、アジア及び欧州で落ち込んだものの、日本や米州において自動車関連向けを中心に売上が増加したこと等により、327億円（前年同期比3.0%増）となりました。利益面では、戦略案件への対応や100周年関連支出等が影響し、営業利益は28億円（同13.5%減）、経常利益は為替差損の影響等により28億円（同21.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億円（同24.9%減）となりました。

通期業績の見通し

電気自動車に関連する需要は根強く、受注は引き続き堅調に推移する見込みです。売上についても上期の受注増加が寄与し、下期の売上は上期対比で大幅に伸びる見込みです。

以上により、通期では、期初の予想どおり売上高720億円（前期比6.6%増）、営業利益70億円（同5.8%増）、経常利益71億円（同4.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益50億円（同0.3%増）と増収増益を見込んでおります。また、期末配当金につきましては、1株当たり30円を計画しております。なお、11月1日に子会社化した日本リライアンス(株)とその子会社(株)RASの業績は第4四半期より連結対象となるため、現時点ではまだ通期予想に反映されておられません。

株主の皆さまへ

日本リライアンス(株)の買収—自動機 (FA) 事業強化

近年、生産設備の自動化・ロボット化へのニーズが高まる中で、当社グループは自動機 (FA) 事業を重点事業と位置付け、プレス機械周辺の自動化に向けたシステム開発力を強化すべく、今期よりスタートした新中期経営計画において、積極的な投資を行うという戦略を掲げています。2017年9月29日付プレスリリース「日本リライアンス(株)の株式取得及び孫会社の異動に関するお知らせ」のとおり、自動制御装置分野において高い技術力とサービス提供力を持つ日本リライアンス(株)及びその子会社(株)RASを11月1日に買収いたしました。両社はプレスメーカー、自動車、鉄鋼関連企業を中心にラインシステム制御装置、プロセスライン制御装置、サーボドライブ等の豊富な納入実績を有しており、両社が当社グループに加わることで、当社グループの自動化システム開発力の強化、製品の競争力向上

が期待できるとともに、両社の技術力と顧客基盤を足掛かりとした新たな事業領域の開拓も展望できるものと考えております。

日本リライアンス(株)及び(株)RASの概要

決算期：2017年3月期 単位：百万円

	純資産	総資産	売上高	経常利益
日本リライアンス(株)	858	4,237	4,491	160
(株)RAS	508	961	1,162	50

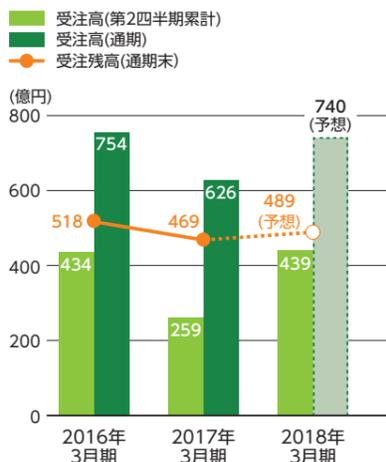
株主の皆さまへのメッセージ

今後も確実な中期経営計画の達成に向けて全社一丸となって取り組み、持続的な成長を目指してまいります。

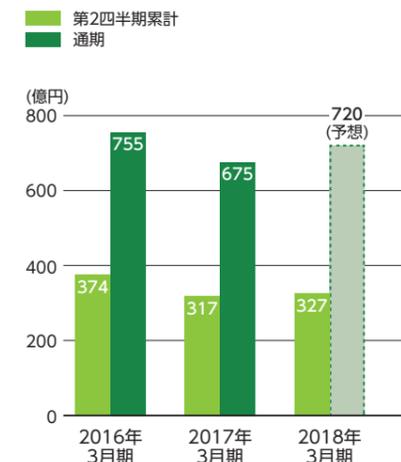
株主の皆さまにおかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務ハイライト

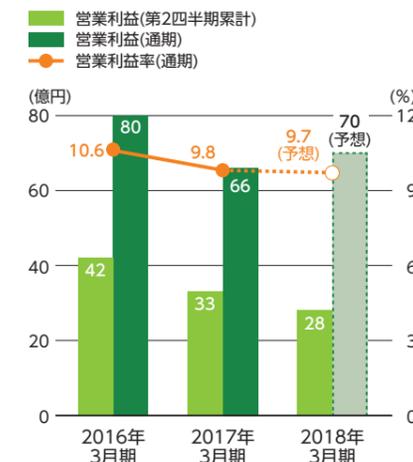
受注高/受注残高



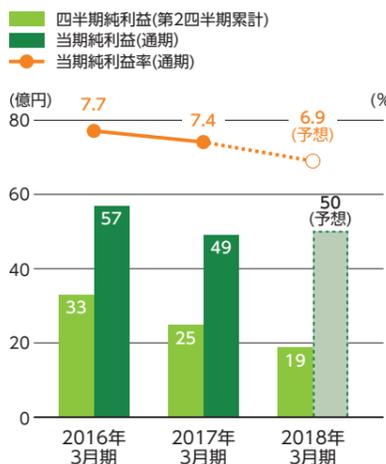
売上高



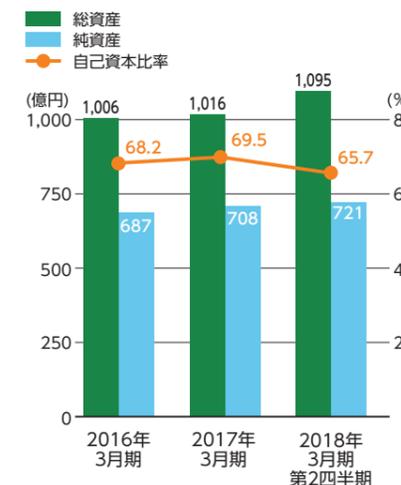
営業利益/営業利益率



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益/当期純利益率



総資産/純資産/自己資本比率



1株当たり当期純利益/1株当たり配当金/配当性向



新中期経営計画

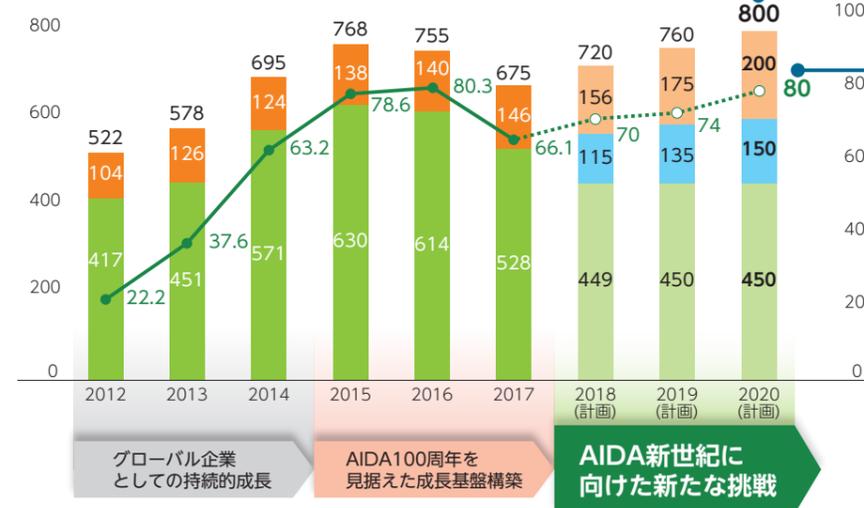
2018年3月期～2020年3月期

基本戦略：AIDA新世紀に向けた新たな挑戦

■ビジョン 環境・省エネ・技術を支えるグローバル先進企業として深化する。

■業績目標 “AIDAプラン523”

売上高(億円) プレス 自動機 (FA) サービス



2020年3月期

売上高 **800** 億円
安定成長を基本路線とし、過去最高を目指す。

営業利益 **80** 億円
安定的に10%以上の営業利益率を目指す。

長期的目標

売上高 **1,000** 億円

売上比率

- プレス…………… 5
- 自動機(FA) …… 2
- サービス…………… 3

“AIDAプラン523”

■重点施策

市場・顧客開拓	商品競争力向上	重点事業強化
<ul style="list-style-type: none"> ● グローバル顧客開拓 (アィダブランド力向上) ● テクニカルマーケティング強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● プレスのサーボ化推進 ● プレス機械の標準化 ● 新素材対応強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動機(FA)事業 ● サービス事業
グローバル業務体制高度化	人材育成・開発	成長基盤構築
<ul style="list-style-type: none"> ● 共同生産体制高度化 ● グローバルガバナンス強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● グローバル人材育成 ● 戦略的人財ローテーション 	<ul style="list-style-type: none"> ● 研究開発 ● 成長投資

Topics

中国ベンチャー企業Future Mobility Corporation より電気自動車用大型サーボタンデムライン受注

環境問題を背景に、フランス、イギリス等がガソリン・ディーゼル車の販売を禁止する方針を発表するとともに、世界最大の自動車市場である中国でも2019年から電気自動車 (EV) をはじめとする新エネルギー車の一定割合以上の生産・販売が義務化されるなど、各国の規制や技術革新により世界規模でEV化が加速しています。

こうしたEV需要が高まる中、当社は「BYTON」ブランドを製造する中国のEVベンチャー企業Future Mobility Corporation (FMC) より、EVボディパネル成形用の大型サーボタンデムラインおよび周辺機械を約40億円で受注しました。加圧能力2,500トンのプレス機械をはじめとする5台のサーボプレスで構成されており、1分間の生産量は最大18個～20個と高い生産性が特徴で、アルミ材成形にも対応します。

急速に拡大するEV市場等、時代とともに変化する需要に対し、高い提案力と柔軟な開発力でモノづくりに貢献し、世界市場でのシェア拡大を目指します。



2019年3月稼働開始予定のFMC納入ラインと同等タイプのサーボタンデムライン (イメージ)

会社情報・株式情報 (2017年9月30日現在)

会社概要

商号 アイダエンジニアリング株式会社
 創業 1917年(大正6年)3月
 設立 1937年(昭和12年)3月
 資本金 78億31百万円
 上場取引所 東京証券取引所市場第一部
 証券コード 6118
 従業員数 1,987名(連結) 739名(単体)

役員

取締役

代表取締役社長 会田 仁一
 取締役 中西 直義
 取締役 ヤップ テック メン
 取締役 鈴木 利彦
 取締役 増田 健
 取締役(社外) 大磯 公男
 取締役(社外) 五味 廣文

監査役

常勤監査役(社外) 松本 誠郎
 監査役(社外) 金井 洋
 監査役(社外) 巻之内 茂

株式の状況

発行可能株式総数 188,149,000株
 発行済株式総数 73,647,321株(うち自己株式8,568,109株)
 株主数 7,625名

所有者別株式分布状況



大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
第一生命保険株式会社	4,000	6.15
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	3,382	5.20
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,961	4.56
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,795	4.30
日本生命保険相互会社	2,533	3.90
明治安田生命保険相互会社	2,516	3.87
株式会社みずほ銀行	2,179	3.35
会田仁一	1,444	2.22
BBH/ROBO-STOXTM GLOBAL ROBOTICS AND AUTOMATION INDEX ETF	1,314	2.02
アイダエンジニアリング取引先持株会	1,268	1.95

(注) 1. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式を控除した株式数(65,079,212株)を基準に算出しております。
 2. 資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)は、株式給付信託(J-ESOP)における当社株式の再信託先です。

ホームページのご案内



株主
投資家
情報

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、最新のニュースリリースやIR情報を掲載しております。

アイダ

検索

<http://www.aida.co.jp>

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 剰余金の配当基準日 毎年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社
- 郵便物送付先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

株式に関するお問合せ先

証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
お取引の証券会社にご連絡ください。	みずほ信託銀行 証券代行部 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)

株式に関するお手続き(住所・姓名などの変更、配当金の受取方法・振込先の変更、単元未満株式の買取・買増の請求など)のご照会およびお届出につきましては、上記をご参照ください。ただし、未払配当金につきましては、みずほ信託銀行証券代行部(フリーダイヤル:0120-288-324)へお問合せください。

公告方法 電子公告

<http://www.aida.co.jp/ir/koukoku/index.html>
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。